

童謡のピアノ伴奏についての一考察
～原曲の特徴を損なわずに簡易化する方策を探る～

千田 耕太郎* 森 麻希子**

A Study on Piano Accompaniment of Children's Songs
Exploring measures to simplify without impairing the goodness of original music

Kotaro Senda Makiko Mori

本学をピアノ初心者として入学した者が卒業して保育教育現場に就職しピアノの演奏に苦勞していたり、保育者が歌唱教材を選定する際ピアノ演奏技術が足りなくて二の足を踏んでしまったりすることがあると聞き、童謡の伴奏を如何にして簡易化するかその方策を探ろうと考えた。本学ではバイエル終了程度の技術で演奏でき、しかも曲の持つ美しいニュアンスが失われないような童謡の簡易伴奏化に42年前より取り組んできており、その実践内容を詳しく調べ、自ら簡易伴奏の編曲に取り組むことにより、簡易伴奏化の手立てをある程度纏めることが出来た。

Key words: 童謡 弾き歌い 簡易伴奏 編曲

1. はじめに

保育者が子どもに歌唱指導する場合、ピアノなどの鍵盤楽器を使って演奏する力と歌を歌う力、そして歌を指導する力が求められる。出来るならば子どもがわくわくして歌いたくなるような魅力あるピアノの演奏や、子どものイメージが膨らむような歌唱表現が出来るに越したことはない。しかし、ピアノ演奏だけに焦点を当てても本学の全ての学生、卒業生が前述のような演奏力を身につけているかというとなかなかそうはいかない現状がある。もちろん、安心して世に送り出せるだけの力をつけている学生も多数いるが、入学する時点でピアノの経験が無い、または少しの経験しかない学生にとって1年間の必修の授業だけでは保育の資格を取得する最低限のピアノ演奏力(バイエル教則本終了程度)を身につけるのがやっとなのである事が多い。

また、実際の歌唱指導の場面では、自分一人で自宅や練習室で練習する場合と違い、次に挙げるような様々な要因によりピアノ演奏も困難の度合が増す。例えば、

- ・子どもの歌唱に耳を傾ける必要があるのでピアノの演奏だけに集中してられない。
 - ・子どもの歌唱活動を妨げないよう少々間違えてでも最後まで止まらずに演奏することが求められる。
 - ・子どもの顔を見ながら指導することが望まれるので楽譜や鍵盤ばかりを見てられない。
 - ・子ども達の歌唱がうまくいくようピアノを弾きながらタイミング良く指導の言葉がけをしなければならない。
- などである。

一方童謡の楽譜を見てみると、芸術性の高い童謡はピアノパートにも作曲家が力を入れて作っており演奏するのが難しいものが多い。中には、子どもに歌わせることを目的にピアノパートもシンプルに易しく作曲しているものもあるが、それでもバイエル終了程度の演奏力の者にとってはやはり荷が重い。また最近の童謡は特にリズムや和音が複雑で細かな音符が多く楽譜を読むのも演奏するのも難しいものが多い。

保育現場の保育者の声を聞いても前述の学生の例に違わず保育者の多くがピアノについては晩学であり、せっかく心躍る良い曲を見つけたとして

* 四條畷学園短期大学 保育学科

** 四條畷学園短期大学 保育学科

もピアノ伴奏の困難さから教材として取り上げるのに二の足を踏んでしまうことも多いと聞く。

そしてそのような場合、それを乗り越えるための手立てとして次のようなことが考えられる。

・[方策 A] とにかく時間をかけて練習し、弾けるようにする。

これが出来るならばこれに越したことはないのだが、自分の実力をはるかに超える難しい曲の場合うまくいかないこともある。また、保育者はとても忙しく練習に十分な時間を割けないことも考えられる。

・[方策 B] 簡単な伴奏の楽譜を探す。

自分の演奏力に見合った伴奏の楽譜に巡り合うことが出来ればよいのだが、簡易化してあってもバイエル終了程度の実力では手に負えないものも多い。

・[方策 C] “コード” に頼り元の音形を無視して定型のパターン化された音形の伴奏に変えて弾く。

ある程度のコードの知識を得ていくつかのパターンの伴奏型を覚えさえすれば確かに簡単に弾くことが出来る。しかしこれではどの曲も同じような雰囲気曲になってしまい作曲家がイメージを描いて厳選した音や音形を全く無視してしまうことになりかねない。

・[方策 D] 自分で伴奏を簡易化する。

自分で伴奏を簡易化することが出来れば自分の実力に合った演奏ができ、子どもの歌唱により多くの注意を傾けることが出来る。また、曲の特徴を生かして簡易化できれば、コードによるパターン化した伴奏よりも曲のもつ雰囲気や良さをより一層子どもに伝えることが出来る。

本学音楽研究室では東保元教授が「バイエル終了程度の技術で伴奏が出来ること、しかも曲の持つ美しいニュアンスが失われないこと」¹⁾を念頭に42年前より童謡に簡単な伴奏をつける取り組みを行い3冊の楽譜集に纏めてきた。²⁾

本研究では、本学の簡易伴奏付けの取り組みを参考にどのような方法で伴奏を簡易化しているのかを分析し新しい童謡の簡易伴奏づけを試みることにしその方策を纏めた。

2. 本学の童謡の簡易伴奏付け

本学の簡易伴奏付けの取り組みは次のような方針で行われている。

・歌の旋律は常に右手にあること。

・左手の伴奏は可能な限り簡素にし、その跳躍は1オクターブ以内に留める。

止むを得ないときは、指使いを指示する。

・オルガン伴奏の場合を考慮して、3和音の常時使用を避け（メロディーが聞こえにくい）できれば、二重音までとする。

・難易度は、バイエル終了程度とする。

・原則として、拍子を明確にするために符桁を1拍単位でむすんでいる。³⁾

では次に原曲と簡易化された楽譜を比較分析することでどのような方法で伴奏を簡易化しているのかを探っていく。なお、本稿では音名をドイツ音名 [C,D,E...] で表した。

2-1. 「とんぼのめがね」 額賀 誠志作詞 平井康三郎作曲

[譜例1] 原曲

[譜例2] 簡易伴奏

とんぼのめがね

原曲 藤田 功雄
作詞 伊藤 洋子

原曲 [譜例1] を見ると前奏右手は3音の和音の連続となっているが、バイエル終了程度の演奏技術では綺麗に響かせるのが難しいのでシンプルに一番上の音のみ抽出し単音のメロディーにすることで簡易化している。

この曲の左手パートは単音で作曲されており、前奏3～4小節にオクターヴの跳躍が続く以外は左手ポジションの移動や指を潜らせたり跨いだりすることがさほどなく、バイエル終了程度の技術の者でもそのまま演奏することが出来る。

このような曲の場合はあまりいじらずに歌の旋律を右手で弾き、それに左手パートをそのまま組み合わせることで簡易化を図っている。[譜例2]

2-2. 「ぞうさん」まど・みちお作詞

團 伊玖磨作曲

[譜例3] 原曲

ぞうさん

まど・みちお 作詞
團 伊玖磨 作曲

[譜例4] 簡易伴奏

ぞうさん

まど・みちお 作詞
團 伊玖磨 作曲

この曲も歌の旋律と左手パートを組み合わせることで簡易化を図っているが、それに加えて次のような簡易化のための工夫が見てとれる。

前奏の右手パートは原曲 [譜例3] の旋律をそのまま使用しているが難度が高いため、左手パート3小節目の二分音符と四分音符の重音を付点二分音符にまとめ、4小節目の重音の上の音を省き単音にすることで左手の単純化を図り右手に集中できるような工夫がなされている。[譜例4]

歌の後半(9～12小節)は右手パートの重音を単音の歌の旋律とし、左手のオクターヴの跳躍をなくすことで手のポジション移動を少なくし簡易化を図っている。

最終小節は右手の重音 [A,F] の下の音 [A] を左手で弾く [F,A] ことにより簡易化を図っている。

「パジャマでおじさま」榎木富士夫作詞

若月 明人作曲

[譜例7] 原曲

パジャマでおじさま

榎木 富士夫 作詞
若月 明人 作曲

♩ = 120 (はげんで、ウキウキと)

[譜例8] 簡易伴奏

パジャマでおじさま

榎木 富士夫 作詞
若月 明人 作曲

曲全体を通して、

・右手は歌の旋律を演奏する。

原曲では弾んだ軽やかな雰囲気を出すために右手旋律を歌の実音より1オクターヴ上げて書いているが、子どもの歌いやすさを優先し歌と同じ音高にしている。

・左手は基本的に単音で演奏する。

・和音を使う必要がある時は音を選んで単純化し片手につき2音まで、出来れば両手で3音に留める。

原曲では和音や分散和音を多用し和音の響きを味わえるようにしているが、その和音の構成音から和音を特徴づける音を厳選して選び、省ける音は省くようにする。

それでは、各部分を詳しく見ていこう。

前奏部分は、第1小節1拍目がDm7のコード、

第2小節3拍目からG 7のコードとなっている。

第1小節1拍目のDm 7の構成音は [D,F,A,C] だが、右手旋律に [A] と [C] が出てくるので左手の和音から [A] と [C] を省き左手は [D,F] としている。

第2小節3拍目のG 7の構成音は [D,F,G,H] だが、右手に [G] 音が出てくるので左手から [G] 音を省き、次に [D,F,H] の中から実際に弾いてみて響きの良い [F,H] を選択した。

原曲2段目の左手は分散和音となっているが、2拍目4拍目の高い方の音を省き単音にすることで簡易化を図った。

原曲3段目の前半は、浮き出して聞こえてくる [Cis] → [D] の音を重視し他は省いた。

3段目後半はDのコードを構成する [D,Fis,A] より [D,Fis] の2音を選んだ。

原曲4段目の2小節目から続く8小節は、歌のリズミカルな雰囲気とは対称に左手が持つ Legato な雰囲気を重視し、E 7 → Am → G 7 → C、C 7 → F → C 7 → F のコード進行の中から浮かび上がってくる [Gis → A → H → C]、[B → A → G → F] の音の流れを全音符で表した。

原曲の次の段はD ♭のコードとFのコードの構成音 [Des,F,As]、[C,F,A] よりそれぞれ下の2音を選んだ。

ダル・セーニョの前、8分音符のオクターヴの演奏は難度が高いため上の音を省き四分音符の旋律とした。

Codaは左手を単音、右手を単音または2音までの重音とすることで簡易化を図った。

その他、簡易伴奏化に取り組んだ楽譜を例として何曲か示す。

もう春だ

原曲より簡易化した楽譜。ピアノは左手を単音または2音までの重音とすることで簡易化を図った。また、右手のオクターヴ演奏も四分音符に簡易化した。

おひるねの ゆめ

原曲より簡易化した楽譜。ピアノは左手を単音または2音までの重音とすることで簡易化を図った。また、右手のオクターヴ演奏も四分音符に簡易化した。

チョコレートボンボンのうた

The image shows a piano score for the song 'Chocolate Bonbon no Uta'. It consists of seven systems of music. Each system includes a vocal line with lyrics in Japanese and a piano accompaniment. The lyrics are:

1. チョコレートボンボン、チョコレートボンボン、チョコレートボンボン、チョコレートボンボン。

2. チョコレートボンボン、チョコレートボンボン、チョコレートボンボン、チョコレートボンボン。

3. チョコレートボンボン、チョコレートボンボン、チョコレートボンボン、チョコレートボンボン。

4. チョコレートボンボン、チョコレートボンボン、チョコレートボンボン、チョコレートボンボン。

5. チョコレートボンボン、チョコレートボンボン、チョコレートボンボン、チョコレートボンボン。

6. チョコレートボンボン、チョコレートボンボン、チョコレートボンボン、チョコレートボンボン。

7. チョコレートボンボン、チョコレートボンボン、チョコレートボンボン、チョコレートボンボン。

4. おわりに

本学の簡易伴奏化の取り組みを詳しく調べ、実際に簡易伴奏化に取り組むことによって、次のような童謡の伴奏を簡易化する際の手立てが見えてきた。

- ・簡易化はバイエル終了程度の演奏力を対象とする。
- ・歌の旋律は必ず弾く。
- ・右手の難度が高い部分は、極力左手を単純化する。
- ・左手の伴奏は可能な限り跳躍を1オクターヴ以内に留める。
- ・右手と左手が同時にポジション移動することを極力避ける。
- ・同じように指が潜ったり跨いだりすることも左右同時に起きることを避ける。

- ・和音は右手、左手合わせて3音ないし4音に留める。
- ・和音の進行から印象的な音の流れを読み取って単音を抽出し左手旋律とする。

このような方策を理解して難しい伴奏に応用し簡易化することが出来れば本来の目的である歌唱指導により力を注ぐことが出来るようになるのではないだろうか。

ただ、もちろん全ての楽譜を安易に簡易化するのではなく、自分の演奏力向上のために努力をすることが前提であり、本研究の手立てが自分の演奏力ではどうしても演奏出来ない時の対応策であることを申し添えておく。

本研究がピアノ演奏に困っている保育者の一助となることを願っている。

【註】

- 1) 東 保編著 (1981) やさしい伴奏によるこどものうた (1) 全音楽譜出版社まえがきより
- 2) 東 保編著 (1981) やさしい伴奏によるこどものうた (1) 全音楽譜出版社
東 保著 (1982) やさしくひける幼児のうたチャイルド本社
東 保編著 (1985) やさしい伴奏によるこどものうた (2) 全音楽譜出版社
- 3) 東 保著 (1982) やさしくひける幼児のうたチャイルド本社 pp314-315

【参考文献】

- 厚生労働省編 (2017) 「保育所保育指針」フレーベル館
 文部科学省編 (2017) 「幼稚園教育要領」フレーベル館
 内閣府文部科学省厚生労働省編 (2017) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」フレーベル館
 東 保編著 (1981) やさしい伴奏によるこどものうた (1) 全音楽譜出版社
 東 保著 (1982) やさしくひける幼児のうたチャイルド本社
 東 保編著 (1985) やさしい伴奏によるこどものうた (2) 全音楽譜出版社
 日本放送協会編 NHK みんなのうた日本放送出版協会
 日本放送協会編 NHK こどものうた日本放送出版協会
 松山祐士編著 (1989) ピアノでうたうおかあさんといっしょヒット曲集ドレミ楽譜出版社
 上野一郎編 (1981) [現代こどもの歌秀作選] いぬのおまわりさん大中恩選集河合楽器製作所出版部
 上野一郎編 (1982) [現代こどもの歌秀作選] あめふりくまのこ湯山昭選集河合楽器製作所出版部

上野一郎編（1987）「現代こどもの歌秀作選」めだかがっ
こう中田喜直選集河合楽器製作所出版部
日本童謡協会（2003）みんなの童謡 200 河合楽器製作所
出版部

－ 2018.08.27 受理、2018.08.28 受稿－